

### 研究会の視点

- 子どもが、単元を通して実現していきたい目的を自覚し、現在取り組んでいる学習活動の意味や流れを理解し、本時に臨むことができていたか。
- 本時の学習問題が子どもたちの思いや願い、思考に沿った、子どもたちに意味のあるものになっていたか。子どもたちは何のために本時の学習問題について話し合っているのか理解していたか。
- 「本時の学びどころ」に整理されている教師の意図が授業の中（特に、ふかめる）で見られたか。それが子どもの学習活動や思考に沿ったものになっていたか。それによって子どもたちに変容は見られたか。

### 1年2組（堀級） 「つうがくろたんけんて もっとぴかぴか」

#### 【担任の意図】

学校探検を終えた子どもたち、今度は学校の外も知りたいという思いが子どもたちから出てきた。たくさん地域の人に見守れていることと、それに頼ることなく自分たちも通学路を安全に歩くことの大切さに気付かせたい。

#### 【授業の様子】

登下校中に会う地域の人と、たくさん話をでき、うれしい気持ちの中、もっと仲良くなりたい、お礼をしたいという思いをもてた。一方、自分たちも気を付けなければということまで思いが高まっていなかった。



### 2年1組（小野田級） 「だいすき いせ町しょうてんがい」

#### 【担任の意図】

戸部の町のことをもっと知り、町のことをもっと好きになりたいという思いから町探検に行った。その中でも伊勢町商店街のお店やそこで働く人と関わる中で商店街の良さに気づき、もっと関わりたいという思いをもたせたい。

#### 【授業の様子】

伊勢町商店街と繰り返し関わる中で、お店やそこでは働く人へ思いを寄せることができた。探検に行く前に一人ひとりが目的をきちんともてるとよかった。



### 3年1組（高橋級） 「目指せ、のげやマスター！」

#### 【担任の意図】

それぞれが見つけた動物の特徴を発表し合うことで、自分だけでは気付くことのできなかつた特徴や観察の仕方に気づき、今後いろいろな視点で調べていきたいという思いをもつ。

#### 【授業の様子】

それぞれに意見を出し合うことで、情報が共通でき、爬虫類の特徴についての理解することができた。しかし、子どもたちが今後「もっと情報を集めなければならない。」という必要感がなく、新たな視点を深めることはできなかった。



### 3年2組（武藤級） 「3-2 0円楽器で すてきない音おきかせします！」

#### 【担任の意図】

戸部のまちのお店や工場に行って集めた材料を使って見つけた音を話し合う活動を通して、材料や音の鳴らし方によって音が変わることに気づき、これからの活動を考える。

#### 【授業の様子】

音を鳴らしながら音を聴き合うことで、どの材料でどんな音が出るのかが分かってきた。板書で表に整理すると、埋まっていないところの音を集めた方がよいということが視覚化できた。



## 5年2組（吉川級） 「あやとりで 戸部の輪を つなごう」

### 【担任の意図】

初めてAさんに教えてもらった事を、あやとりの技や交流するときの楽しさやコツの視点で話し合い、自分達の交流へ、具体の姿を意識して交流で大切にしていかなければならないことに気付き、自分たちの交流への意欲を高める。

### 【授業の様子】

あやとりの楽しさや可能性は感じていた。そこから自分達の交流への思いを高め自分達の思いは広がっていったが、前半の〈つかむ〉の話し合いの情報があまり意識できていなかった。



### 講師の先生から

- 子どものエピソードの中で気付きや意識が生まれたり深まったりしていくようにする。（生活）
- 共有化できたり客観的に見られたりするように記録をすると、子どもと一緒に納得したり考えたり悩んだりすることができる。（生活）
- 板書で何をつかめばよいのかが分かるように、表に整理したり、分類したりする。（総合）
- 方法論でつなぐのではなく、必要感や情意でつなぐ話し合いをする。（総合）
- 授業の「つかむ」で子どもたちが話し合ったことを、「深める」過程で子どもたちがその内容を活用して、話し合うことができるようにする。（総合）